

## 第10号 5日のイスカ

11月5日、何の日かご存知ですか？世間で「今日は〇〇記念日」とあるように、御岳ビジターセンターでは11月5日を「イスカの日」と呼んでいます。

イスカとは野鳥の一種で、体長はスズメより少し大きく、オスは赤色をしています。最大の特徴は、<sup>くちばし</sup>嘴の先端が左右に交差していること。物事が食い違い思うようにならないことを「イスカの嘴の食い違い」と言いますが、このことわざはイスカの嘴の様子からできた言葉です。

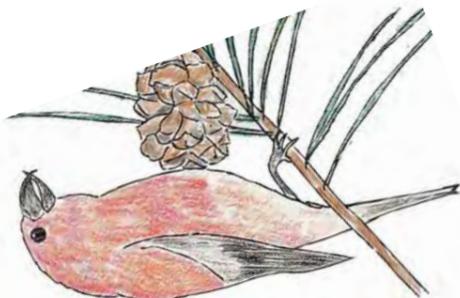
御岳山では秋の数日間、休憩のために立ち寄りだけの超がつくレアな鳥ですが、そのイスカは何故か11月5日前後に飛来することが多い。そのことから「イスカの日」とスタッフが呼び始めました。

そんなイスカの大好物は、マツの種子。松かさのすき間に嘴を差し込み、種子だけを食べます。交差した特殊な形状の嘴は、マツの種子を食べるために進化したものです。

御岳ビジターセンターから10分程大塚山方面に行くと円塚山という小高い丘があります。2018年から過去10年、イスカとの出会いは、全てこの場所で起きています。

今年の11月5日は「イスカの日」となるでしょうか？

(解説員 林)



前号と見た目はほとんど変わっていないがはたして変化はあったのか…？

## 茅葺き屋根の馬場家

### おかえり！馬場家のお客さま

「ちゅるちゅる〜♪」春先、1年ぶりに高らかに鳴くあの声が響いた。ミソサザイだ！彼らは毎年、巣作りにやってくる。今年も帰ってきてくれたんだね。おニューになった屋根には気が付いたかな？

茅葺き替え中は、人も家に暮らせなかったため馬場一家は一時引っ越しをしていた。葺き替え後に家に戻りしばらく暮らしていると…「どたんぱたん」！誰もいないはずの天井裏から音がする。しかも夜中。どうやらムササビくんも一緒に帰ってきたようだ。ムササビくんとの同居は、とてもうらやましかれど毎日夜中に「どたんぱたん」聞こえてきたんじゃ…うるさーい！！

後日、馬場家のすぐ横にムササビくん用の巣箱が設置された。設置してからすぐに「どたんぱたん」はあまり聞こえなくなったという…。空気を読んで巣箱に引っ越ししてくれたのかな…？

馬場家の珍客ムササビくんの今後の気になる！さらなる来訪者もくるか！？

次項も乞うご期待★

(解説員 深澤)



ムササビくんの新しいおうち！



屋根がきれいになってるね〜♪



紅葉狩りで賑わう11月  
山の畑で採れた真っ白な大根たちが  
きれいに並んで干されている

山の厳しい冬を乗り越えるための保存食  
昔の人の知恵が受け継がれている

あまり見られなくなったこの光景が  
御岳山にはまだ残っている



# 継



今年の夏は暑かった！  
青梅市で都内最高  
記録の40.8℃を更新  
した日は御岳山で  
最高32.7℃だったよ。

制作・発行

御岳ビジターセンター

〒198-0175 東京都青梅市御岳山38-5

開館 (9:00~16:30) 休館 (月曜日 ※祝日の場合は翌日)

TEL 0428-78-9363 FAX 0428-78-9445

HP <http://mitakevc929.ec-net.jp/> 2018年9月 第10号

